



## 環境・福祉対策に 対応できる町づくり

副会長 星野 数夫

町連の部会は十一部門が有り、環境・福祉部の担当です。環境として住みやすい安心安全な街を目指しております。最近自然災害が頻繁に起こり何時何処で身近な問題になるかわかりません。地区として何が必要なのか、身近な環境を知ることが大切な一歩では無いでしょうか。

個々の危機感を持ち自分が何が出来なのか、家族は、近所の方は、更にもう一歩行動範囲を広げて何が助け合うことが出来るのか考えて見たいものです。

福祉として藤野地区は少子高齢化が進み問題が多く抱えている地域で有ります。助け合う事はもちろんですが先ずは自分の健康状態を把握してフォーマルサービス・インフォーマルサービスの活用の利用、年二回福まち研修会を開催しております。是非参加し情報を得て身

に付けてもらえれば幸いです。

昨今認知症の方が多く見受けられます。何時自分が、身近な方が、自分が大丈夫と思っても分かりませぬ。是非機会があれば研修会を通じ知識を得て頂ければと思います。

ノーマライゼーションを目指して行こうと思います。相談窓口として福祉なんでも相談を町連事務所毎週月曜日に受けております。時間は午後一時～三時です。

民生児童委員・藤野社会福祉協議会のメンバーで構成しております。気兼ねなく相談してください。身近な相談員(民生児童委員)として約三〇〇世帯に一人配置、藤野地区には二十九名がおります。

微力ではありますが、藤野地区の皆様のご支援ご指導を宜しくお願い申し上げます。

# 晴天の中 盛大に開催

去る八月六日(土)第二十六回藤野ふるさとまつりが、「花とみどり・文化と福祉のまち藤野」をテーマに東光ストア駐車場を会場に晴天の中、盛大に開催された。五月の町連の定期総会をうけて企画委員会・実行委員会が組織され、ステージ出演者の募集、ポスターの作成、会場設営等の準備を進め当日を迎えた。

## 写真でふりかえる 第26回 藤野ふるさとまつり 8月6日(土)

豊かな自然に恵まれた地域にあつて、あたたかさを支えあうやさしさに満ち溢れた住民が、いきいきと地域活動に取り組みまち藤野、そこに住む住民が自らの手でつくりあげた藤野ふる



寺田実行委員長(町連会長)の挨拶



来賓を代表して南区長高野馨氏の挨拶



17町内会が参加した藤野音頭パレード



藤ヶ丘幼稚園・保育園児の和太鼓演奏



市民文化局所属のマスコットキャラクターじっちゃん登場



藤野南小学校スクールバンドによる吹奏楽演奏



藤野アロハ・フラスクールのフラダンス



午前中からたくさんの観客が来場した



藤野空手サークルの空手演武・日頃の練習の成果の披露



山田三絃会の皆さんによる津軽三味線



徳光利雄さんのテナーサックス演奏山田三絃会の皆さんとのコラボ



北海道文教大学明清高校吹奏楽部によるアンサンブル



子ども会ゲーム参加者に景品が...



紅花会の皆さんの舞踊



カトリア会の皆さんによる舞踊体操



松永務さんのテナーサクソ演奏



わかば会の皆さんの日本舞踊



北海道文教大学明清高校DANCEサークルのジャズ&HipHop



マカナ・ノ・アロハフラサークルによるフラダンス



社会を明るくする運動啓発



庄田道則さんのマジック・サクソ演奏も



彩生流蘭佳会の日本舞踊



藤野中学校吹奏楽部の演奏



今年の友情出演は日和よし貴さん



藤野太鼓保存会の皆さんによる和太鼓演奏

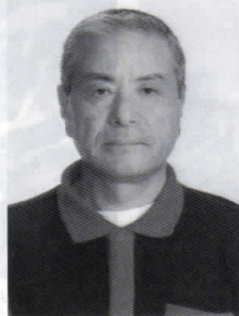


チアダンスサークル☆Smileup!の躍動的なチアダンス

# 町内会紹介

## みんなの生活みんなの協力で!!

藤野団地自治会 会長 船橋 廣光



私共藤野団地は平成二年自然環境に恵まれた藤野の丘にゆとりある居住空間をもつて建てられた一棟に二十四世帯が入居し集会所をかこみ八棟からなっております。今年で二十六年が経ち自治会発足当所は何もわからず管理公社より「自治会の役割として会員同士のコミュニケーションをはかる」との指導のもと春秋の清掃、新年会つくし子供のラジオ体操、夜廻り、福祉部の敬老会、日帰り温泉等

の行事を行っております。

また、市営住宅は自然災害時の一時避難住宅となり有珠山噴火時は洞爺より二世帯の方が入居し現在は熊本県より一世帯の方が避難生活を送っております。

先日行われた防災訓練の際にはご自身の体験を少し話してくださり貴重な時間となりました。

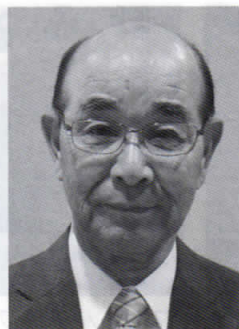
毎年新入居者、退去者が数世帯あり高齢化も進みかかる課題は山づみですが会員の皆様を楽しく仲良く取り組んでいきたいと考えております。

歴代会長、今まで自治会に関わってこられた各役員の皆様には深く感謝の念をもっている所です。また、藤ヶ丘西町内会様、藤ヶ丘

南町内会様におかれましては色々お世話になったとの事と聞いております。

## 共に手を取り合って

藤野公園町内会 会長 寺田 良男



当町内会は簾舞地区と隣接する三条と四条十一丁目の地域に二九二世帯一千人の弱の町内会です。他に大型有料老人施設があり百人を超す自治会もある。旧国道二二〇号は元国立白川療養所から簾舞市街を通じて定山溪への経路が昭和五十三年に国道直線化工事の完成に伴い所属していた西藤野町内会から分離独立し、この国道を境とし南側(山側)に西藤野公園町内会という名称で発足した。

これからもよろしくお願い申し上げます。

当時、会合は廃車乗合バス、プレハブ建物で活動していた。事情があり会館の解体に至った。平成二〇

年、築三十三年の中古平家の民家(土地一五〇坪、建物約三〇坪)の物件を取得し、町内会館「ふれあいの里」と称している。また、町内会名称を町内会の範囲に存在する藤野公園にあやかり「藤野公園町内会」と改称した。裏山の豊栄山から見た町内会は風光明媚な地域で、総じて人情味のあるふれた人間関係のよい住みよい町内会です。町内には二軒の畑作農家があり冬期間は、ご両家より歩くスキーコースとして畑をお借りし健康づくりのための運動を数年前まで実施していま

した。また、町内会も年々少子・高齢化が進んでいきます。老若男女、共に手を携えて互いに助け合い労わり合って「この地に住んで本当によかった」と言ってくれる町内会となるよう願っている一人です。

### 第3回

### ふじの子育てサロンフェスタ

日時 十一月十三日(日) 九時半〜十二時

会場 藤野地区センター

内容 チラシプール、手作り玩具、魚釣りゲーム、歌などのお楽しみタイム、手形足形取り、保護者の骨密度測定など、来場した方が楽しめる趣向を凝らした多数のコナーを設置。

対象 就学前のお子さんとその保護者(同伴の小学生・祖父母の参加も可)

申込方法 当日直接会場へ詳細 藤野地区福祉のまち推進センター 電話591・5082 ちあふる・みなみ電話215・0183

藤野地区少年少女ドッジボール大会

投げた 受けた 躲した

主催 町連体育館

七月二十四日(日) 藤野

南小学校体育館で地域の小学生が団体競技を通じ、友好、交流、体力増進を目的として標記の大会が開かれた。

開式で藤野町連寺田良男会長より地域にある三つの小学校の児童がドッジボール大会に参加することで多くの友達をつくろう、低学年から高学年が一緒にやって試合するの思いやりの心をもってボールを投げようと話した。参加児童の



聞く態度がとても良い。

続いて、ルール説明後チーム編成について次のように決まった。例年の大会は町内会ごとにチームを作つて参加したが、今年は町内会単位の参加は無く、全員で三十名しか集まらず、学年、性別等を均等に分けて三チーム編成で総当たり戦とすることにした。

試合開始。主役は高学年男子で強いボールを相手男子めがけて投げる。

相手は見事に受け身を躲したりの攻防が続く。フィールドの場面では地域の方の大きな拍手が鳴り響く。



低学年女子が逃げると相手の高学年男子が下から優しく投げる。会場は和やかな雰囲気包まれ温かい拍手を送る。

試合終了。例年行われていた表彰状は贈らず全員に参加賞を渡した。

大会運営で汗を流した役員、協力された地域の人々、各チームの選手に温かい声援を送った父母や地域の方の笑顔が輝いていた。

参加児童の皆さんご苦労様でした。友情の輪が広がりました。来年こそ一人でも多くの友達を誘い大会を盛り上げましょう。

文化展・フラワーガーデニング写真展

第二十二回文化展、第十回フラワーガーデニング写真展は九月十日(土)、十一日(日)町づくりセンターで行われた。

布を使つての人形作り、小さくて可愛らしい人形が並ぶ。「見ざる」「聞かざる」「言わざる」を表現した猿の壁掛けが面白い。

小さな花々、大きな牡丹が美しいアートフラワー。子供達の喜びそうな木工作品。実用的な布製のバックや小物入れ。ボトル入れもある。定山溪白糸の滝(写真)は涼しそうである。柔らかなタツチの静物や風景の水彩画。一針一針、丹念に縫い込んだ刺繍。日々の生活を詠んだ俳句の短冊が並んでいる。「土は備前。木賊に含まれるケイ素で朱色を」の木賊焼には魅了される。

草の花や野菜の絵手紙の中にお茶碗と箸。「今日もごはんがおいしい私。おかげ様で太りました。」との味のある添書き。

今年約八十人から四百五十点程の作品が寄せられたと文化部の方はお話になっていた。

藤野の方はガーデニングを楽しんでおられる。アリーナの壁には我が家の花々の写真が並ぶ。鉢花、庭畑の花、梅の木もある。色彩が鮮やかである。



押しボタン

「和太鼓という伝統芸能」

藤野三区町内会 増田 純希



「日本の伝統芸能ってじじくさいな。」という概念が当時小学四年の私にはありませんでした。

テレビで見る琴や三味線等、和の文化はどこか古ぼけて、見え聞く音も心を感じる事ができませんでした。

ところが、テレビで見た和太鼓の演奏に母が興味をもち、調べる→町内会で教えてくれる所があるというので、私は半ば強引に連れて行か

れ、太鼓という和の文化に生で触れることになりました。そこで、私の持つていた価値観が間違っていたことに初めて気付きました。

「古ぼけた感じ」とは真逆で、迫力があり、心がわくわくして、すぐにでもやりたいと思えるものでした。あまり年が離れていないはずの叩き手の背中が一回りも二回りも大きく見えて格好良かったのを覚えています。

ところで、皆さんは藤野太鼓の演奏をご存知ですか？主に地域のお祭りや老人ホームなどで演奏をしています。毎年恒例のふるさと祭りを初め、三年前には、和太鼓の上手さを競うコンクールで地区大会を突破し、全国大会にも出場しています。今年もその全国大会に出場するため、日々精進しています。さて、話は戻りますが、十

一年前の私が思っていたように今の若者の多くは和太鼓を初めとした日本伝統芸能を近寄り難いものと捉えていると思います。その様な若者がこの文章で少しでも興味を持つてほしいと思います。

私はまだ和太鼓を始めて八年ですが十年、十二年と続けている仲間達がいいます。何故そこまで長く続けられるかを考えたとき、一つ大きな面白さがあると思えました。それは、和太鼓が楽器であり音楽であり、そしてスポーツでもある。ということなんです。

一回の練習や本番で使う体力や出る汗の量はサッカーやテニスなどのスポーツとほとんど変わらないのです。一つ一つの音を体全体で表現することで、かなりの体力を消費してしまいます。また、そのような体力を消耗している状態で演奏している仲間と音を合わせなければいけない、そんな難しい楽器なのです。また、バチさえあれば誰でも楽しめる簡単な

楽器でもあります。その簡単さが表現の幅に広がり、自分たちで曲を作るという創造力に繋がり、和太鼓の奥の深さを生んでいます。

つまり和太鼓とは、誰でも簡単に始められ、スポーツと同じく良い汗を流すことができそれでいて奥が深い素晴らしい楽器なのです。

そんな和太鼓が今、絶滅の危機にあるのも現状です。札幌にも数えられない程あった和太鼓のチームも、今は片手に収まるほどです。

私達藤野太鼓も、八年前は十人ほどいた小学生が、今は三人しかいません。和太鼓という素晴らしい伝統芸能が近い未来に途絶えてしまうと考えると、悲しく思えません。

是非一度、和太鼓という伝統芸能に生で触れてみませんか？私達藤野太鼓は土曜の三時から六時まで、藤野南小学校体育館で活動しています。きっと誰かに伝えたいほどの感動を体感してもらええると思います。

編集後記

○出場者も観客も一体となった夏まつり、盛況だった。

参加者が少なく町内会単位でのチーム構成が出来ない等、やや淋しかったが、元気に頑張っていたドッジボール大会。布ぎれを使つての可愛い人形づくり等。文化展も多彩である。花の表情豊かなフラワーガーデン写真展。夏から秋への行事を取材しながら藤野の人達の楽しさが伝わってきた。

○平間吉春氏、病気で辞めることになった。十年以上にわたつて「ルピナス」の取材編集の柱となつておられたのに残念である。(〇)

ルピナス第九六号

平成二八年十一月一日発行

・ 発行人 寺田 良男  
・ 編集人 森永 和雄

・ 印刷所 定塚 隆亮  
・ 連絡先 札幌大同印刷(株) 章

五九二一四一七八(森永)